

(仮称) 富士宮市立郷土史博物館 建設候補地説明会 (きらら利用登録団体)

令和 8 年 4 月 9 日 (木) 13:30～

4 月 13 日 (月) 19:00～

駅前交流センターきらら集会室

次第

- 1 駅前交流センターきらら駐車場について
- 2 質疑

1 駅前交流センターきらら駐車場について

きらら駐車場（約 3,000 m²、106 台）

○1月の説明会内容

- ・敷地の 3 分の 1、およそ 1000 m²、35 台分の敷地を使用することとした場合、駐車場は 2,000 m²、70 台分残る計算となる。通路や障がい者用駐車場等も考慮すると、およそ 60 台は残る。
- ・きらら駐車場の利用状況は、通常 30～40 台程度（きらら以外の周辺の利用者含む）であり、これに博物館利用者分を 20 台程度確保しても 60 台あれば足りる計算となる。

→駐車場が遠くなる。周辺は道が狭い。駐車スペースも狭い。高齢者が多く不便。荷物もある。

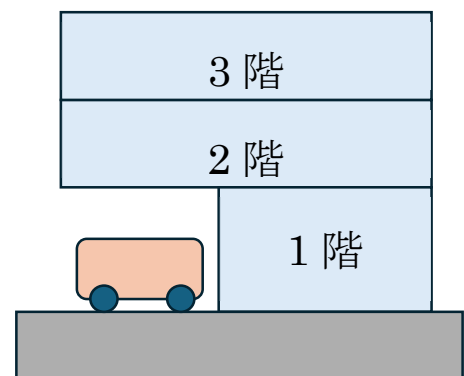
○きらら駐車場内での駐車台数の確保

- ・きらら駐車場内に 80 台程度駐車台数を確保し、減少する台数は 26 台程度にとどめる。

→1 階を一部駐車スペースとして利用

- ・キャノピー
(ひさし状に建物の下を駐車スペースにする)
- ・ピロティ
(1 階の一部を柱だけで支える空間にして駐車スペースにする)

キャノピーのイメージ



○80 台について

- ・きらら駐車場の利用状況について（令和 6 年度）

80 台以上の利用がある日は 18 日＝特別な利用の日

きららまつり（2 日）、国際交流フェスティバル（1 日）、十六市（1 日）、宮おどり等まつり（3 日）、初詣（2 日）、民間の営業利用等（8 日）、その他（1 日）

- ・博物館利用者を加えた場合

博物館での利用想定は 20 台程度

きらら利用者が 60 台未満であれば合わせて 80 台以下

60 台以上の利用がある日は年間 79 日（60 台未満の日は 365 日－79 日＝286 日）

- ・80 台を超える特別な利用の日の場合

博物館利用者による増分の 20 台程度について、別途周辺駐車場所を確保（周辺駐車場と提携など民間駐車場を活用）して対応

R6 年度 駐車台数を超える時間帯があった日数

駐車台数	日数
40 台以上	242
50 台以上	158
60 台以上	79
70 台以上	34
80 台以上	18
満車	3